

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	浅見 幸彦	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4078	事務事業名称	八千代こども国際平和文化事業					短縮コード	経常		臨時	4078
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	企画費
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		☐ その他		根拠法令等	八千代子ども国際平和文化基金の設置，管理及び処分に関する条例						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
国が提唱した「ふるさと創生1億円」対象事業として，平成元年「八千代こども国際文化基金」として創設。 ①国際理解事業 ②国際文化交流事業 ③国際協力事業の3事業から成る。 国際理解事業：小5・中2を対象に（財）日本ユニセフ協会製作のビデオなどを見て感じたことを国際平和作文として募集コンクールを行い，入選作文を収録した作文集を発行している。 国際文化交流事業：タイ王国バンコク都とこども親善大使の派遣・受入を行っている。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして				
この事業がスタートして20年以上が経ち，歴代八千代こども親善大使も成人を越える人が増えてきた。そのため，自分たちの経験を活かしてた国際交流・理解活動を行っていかうという考えが定着してきている。この活動が認められ，平成17年度には「地域づくり総務大臣表彰」を受賞した。また，平成20年度には，こども親善大使交流20年を記念して「友好都市」を提携した。平成24年度より本事業は，国際推進室より教育委員会に移管された。						大項目（節）	07	第7節多文化共生				
						中 項 目	01	1. 多文化共生				
						小 項 目	02	(2)多文化共生の地域づくり				
						細 項 目	02	②多文化理解事業の推進				
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内の小・中学生									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： バンコクこども親善大使の受入，八千代こども親善大使のタイ王国バンコクへの派遣，国際平和作文コンクールの実施，歴代の八千代こども親善大使の会「ダイラックアン」との共催で「親善大使的国際平和展」を開催									
	※平成24年度に計画していること： 23年度と同様に実施									
意図 （何を狙っているのか）	募金事業を通して，子どもたちの平和に対する意識の高揚と国際理解の向上を図るとともに，バンコクとの交流により国際感覚を持った人材を養成するものである。									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	22年度	23年度		24年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	児童生徒数	人	16,874	16,882	16,661	16,729			
	指標2	小学5年生児童数と中学2年生生徒数	人	3,839	3,653	3,539	3,500			
	指標3									
活動指標	指標1	国際平和作文コンクールの応募者数	人	3,839	3,653	3,282	3,500			
	指標2	八千代・バンコクのこども親善大使	人	20	20	20	20			
	指標3	親善大使的国際平和展の開催日数	日	1	1	1	1			
成果指標	指標1	作文を書くに当たって外国のことに興味を持った人の割合	%	100	100	100	100			
	指標2	八千代こども親善大使の数	人	10	10	10	10			
	指標3	親善大使的国際平和展に参加した人数	人	550	600	450	500			
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード	4078	事務事業名称	八千代こども国際平和文化事業				所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			国際理解・国際文化交流・国際協力の3本柱を中心とした事業は、国際感覚を持った子どもたちの人材育成に結び付いている。今後は、日本と外国の子どもたち同士がお互いの意見を出しあい、交流を深めていける場を作っていきたい。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			継続的に係っていただけるボランティアが増加している。そのため、成果の向上が期待できる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
バンコクこども親善大使受入時には、学校のみならず地域を上げて受入事業となっていることから、「このような交流の機会を持つことができ、大変よい体験になった」という声が寄せられている。	

所属長コメント	子ども親善大使のOB・OG会「ダイラックアン」を結成し、親善大使としての経験を活かして親善大使的国際平和展の開催や本事業への協力など国際交流・国際平和について関心を持ち、積極的に活動している。今後も、社会の変化に対応しつつ、本事業を修正しながらねらいを達成したい。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	子ども親善大使OB・OG会の国際交流・国際平和に向けての積極的な活動支援とともに、課題解決に努め、国際情勢の変化を含めた様々な社会の変化を的確にとらえ、事業に生かしていくこと。
	☒ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☐ 現状のまま継続		